



雪溶けて、恐竜あらわる

冬のあいだ楽しませてもらった
雪から最後のプレゼント

氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



11/23『クマ棚』

クリやミズナラ等ドングリができる木では見たことがありましたが、ミズキでは初めて見ました。

暖冬だったかな？

11/13 初雪たくさん
12/ 2 積雪10cm程度
12/16 雪無しスキー場開き
1/12 1月なのにフキノトウ発見
1/13 今年初めてのスノーシューハイクをやっと開催

冬鳥の到来

11/23 アトリ、キレンジャク、ヒレンジャク
12/10 キレンジャク、ヒレンジャク大群
12/14 マヒワ群れ



棚田プロジェクト



美しいつく米の棚田



記念すべき最初のイベント、田植え



棚田の生き物観察の様子



暑い中たくさん雑草を取りました



稲刈りをした田んぼで集合写真

どうも、「響の森魚部」部長の佐々木です。昨年の春、私に新たな肩書が追加されました。一昨年は魚部部長、そして今回は・・・棚田隊長です。年一のペースで肩書が増えているので、今年も何か追加されるんじゃないかと思ったりしています。

皆さんは棚田をご存知でしょうか？山の斜面や谷間の傾斜地に多く見られる階段状に作られた水田を棚田と言います。棚田はお米作りの場としてだけでなく、多様な生き物の生息地、大雨の際には水をしっかり貯える治水としての役割も持ち、日本の原風景としても大切にされています。響の森がある若桜町のつく米にも、「日本の棚田100選」や「つなぐ棚田遺産」にも認定されている立派な棚田があるのですが、高齢化や担い手不足により休耕田が増えているため、田植え時期になっても緑ではなく茶色のままの田んぼが増えてきています。他の日本の農村地域においても、つく米の棚田と同じように休耕田が増えているのが現状です。

個人的な話になりますが、私はここ2年ほど友人のお米作りを手伝っています。それまで農業にあまり興味を持ったことが無く、自分の口に毎日運ばれてくるお米がどのように

て作られているかも、ほとんど知りませんでした。田植え、草取り、稲刈り、籾摺り、一通りの作業を体験させてもらい、「こんなに大変な工程を経てお米ってできるんだなあ」としみじみ感じることができました。この感情を誰かと共有したい、と考えていたところ、そうだ！立派な棚田が響の森の目の前にあるじゃないか！ということで、昨年「棚田プロジェクト」を初企画し、お米作りがスタートすることになったのです。

まずはつく米の農家さんに事情を説明し、田んぼを使わせて欲しいとお願いしたところ、快く引き受けてくださり、日々の田んぼの管理と我々の先生をしていただけることになりました。その縁もあり、中国四国農政局さんにもご後援いただけることになりました。「田植え」や「稲刈り」だけではなく、日々の管理のことも知ってもらおうと、稲の生育を邪魔する雑草を取り除く「草取り」、棚田にやってくる生き物を調べる「棚田の生き物観察」も開催し、最後にとれたて棚田米でおにぎりを作る「収穫祭」も開催しました。棚田プロジェクトに参加してくださったお客様から「子どもが稲刈り後に、ご飯粒を残さず食べてくれるようになりました」、「棚田にこんなにたくさんの生き物がいることを初めて知った」といった

お声をいただいた時に、「苦勞もしたけどやっぱりやって良かったなあ」と思いました。

棚田や農業に興味を持ってもらい、「棚田ってね」「お米ってね」という話ができる人を増やすことも、大事な活動だと考えていますが、今回のプロジェクトでは自分達で休耕田を耕して、お米作りを行ったわけではありません。従ってつく米の休耕田問題解決に直結するか、と言われるとそうではありません。本プロジェクトを通して棚田に携わり、この素晴らしい棚田を持続的に保つための方策が無いものかと考えているのですが、今のところ良案は思いついていません。田を耕し、お米を作るということはもちろん人手も費用もかかりますが、加えて棚田がある場所の多くは道が狭く、大きい機械が入りにくいため、その分労力が必要であったりと、棚田ならではの悩みも持ち合わせているのです。

棚田プロジェクトに興味を持っていただけた方、こんなことができるんじゃないかなという意見をお持ちの方、是非棚田のことを一緒に考える仲間になってください。(佐々木)

Special Issue

あんなこと、こんなこと



親子自然研究クラブ「冬の自然観察」 1/27(土)



今年は雪が少なかったため、穴掘りの代わりに、過冷却実験初開催。前日から寒い外に出しておいた水の入ったペットボトルを叩くと水が見える凍ってびっくり！ウサギの足跡をずんずんとたどると、足跡からウサギが立ち止まって枝をかじった様子がわかったり、斜面を登るのが大変なことを実感したり。いつもとは違う内容でしたが、いつもと違った発見がありました。



スノーシューハイク 2/11(日)



今年は記録的な暖冬で開催が心配されましたが、50cmほどの積雪に加えて前夜からの貴重な新雪が20cmほど積もり、かろうじて氷ノ山らしいスノーシューハイクができました。急斜面の登りはちょっとばかりハードでしたが、下りはお楽しみのお尻滑り！広葉樹の森では熊棚も見て、実を美食してのヤドリギの説明で締め、お客様にも楽しく過ごしていただきました。



ネイチャースキートレッキング 2/12(月祝)



前夜に降ったまっさらな雪の上を、スキー板でラッセルしながら国道482号線の県境、東因幡林道を目指しました。途中動物の足跡を発見し、「どんな動物だろうか」「進行方向はどちらだろうか」等としばしば観察。雪を掘り下げイスを作ったランチタイムでは、温かいカップラーメンがうまい！とご満悦。帰りは「スピードが出るのが怖い」と言いつつも滑りを楽しみました。

響の森インタープリターのイチ押し情報

木のおもちゃ



コロナ禍の間、ずっとしまっていた木のおもちゃを出しました。しまっている間に幼稚園児だった子が、小学生になって、木馬が小さくなったように感じられたり、ああ、これで遊んだねえと懐かしく見てくださった。木のおもちゃは2階くつろぎコーナーに置いてあります。木のぬくもりに癒されながら大人も子供も手に取ってまったり遊んでみてください。

Highly Recommended

クルー活動紹介

※クルー：響の森ボランティア

11月～1月の活動内容

- 巣箱調査お手伝い (2)
- チョウの調査 (3)
- たき火で焼き芋ワークショップお手伝い (1)
- 標本作成 (3)

()は延べ人数

たき火で焼き芋ワークショップお手伝い！



赤いジャケットが榎野さん

クルーの榎野さんは今回が初めての活動でしたが麻ひもとファイアースターターを使っての火起こし。焚き付けにする細いまきの準備、燃えやすいまきの積み方、加えてお芋の焦げにくい包み方などお客様に丁寧に説明されました。ほくほくに焼きあがった焼き芋に皆さん満足満足。

Activity Report

イベントカレンダー 2024年4月～6月

4月	6日 [⊕] 6/30日 [⊕]	いつでも作れるコーナー ・生き物プラバンキーホルダー	土日祝のみ
	7日 [⊕]	大人の趣味講座「刃物研ぎ」 時間／①10:00～ ②13:00～ 料金／500円 定員／各回10名	
	13日 [⊕]	親子自然研究クラブ 「イモリ調査」	
	21日 [⊕]	森のようちえん+(プラス)	
ネイチャーキッズフェスティバル	27日 [⊕] 29日 [⊕]	クラフトワークショップ	
	27日 [⊕] 5/6日 [⊕]	森の縁日	
	28日 [⊕] 29日 [⊕]	くるくるスネークパンを焼こう	
	3日 [⊕] 4日 [⊕]	カートンドッグを作ろう	
5月	3日 [⊕] 6日 [⊕]	クラフトワークショップ	
	5日 [⊕]	おやきを作ろう	
	6日 [⊕]	たき火カフェ	
	11日 [⊕]	スペシャル観察会 「春の植物観察」	

4月	12日 [⊕]	森のようちえん+(プラス)	
	18日 [⊕]	スペシャル観察会 「野鳥観察」	
	19日 [⊕]	親子自然研究クラブ 「ヘビの観察」	
	25日 [⊕]	棚田プロジェクト「田植え」	
	26日 [⊕]	わかさ氷ノ山夏山開き	
6月	2日 [⊕]	大人の趣味講座「地図読み」 時間／10:00～15:00 料金／500円 定員／10名	
	9日 [⊕]	森のようちえん+(プラス)	
	22日 [⊕]	親子自然研究クラブ 「棚田の生き物観察」	
	23日 [⊕]	棚田プロジェクト「草取り」	
	30日 [⊕]	大人の趣味講座「森の手入れ体験」 時間／10:00～15:00 料金／500円 定員／20名	

Recommended Books 森のオススメ本

くらべてわかる
きのこ(原寸大)

似たような動植物の判別に困った時、最近ではネット情報を活用する人が多いですが、検索のスピードや画像の正確さという点で書籍の図鑑もとても便利です。キノコも判別がとて難しいのですが私は似た種類の見分け方がわかりやすく説明されているこの図鑑をよく使います。「比べてわかる…」図鑑シリーズは昆虫、野鳥、淡水魚などをはじめ15種類出ていますので自分の好きなジャンルで探してみたいかがでしょうか？



【著者】大作晃一
【出版社】山と溪谷社
【定価】1,980円(税込)

Information

イチ押しイベント

大人の趣味講座
「刃物研ぎ講座」



無人島に1つだけ持って行けるとしたら「ナイフ」を持って行くと考える人も多いでしょう。サバイバルには欠かせない刃物。使いこなすだけでは半人前。大事な道具を自分で手入れできて一人前です。『キャンプになんて行かないも～ん』という人も、台所で使う包丁を持ってくれば、切れ味自在の研ぎ方を伝授いたします。久々開催、刃物研ぎ講座で一人前の大人になりましょう！



お問い合わせ TEL (0858) 82-1620

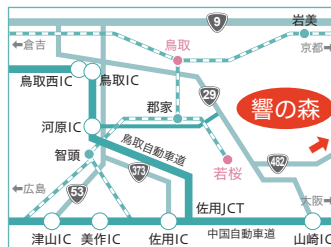


(一財)鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つくよね635-175
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612
[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp
[HP] https://www.hibikinomori.gr.jp/

開館時間／午前9時～午後5時

休館日	4月～9月	10月・11月	12月～3月
	月曜日	月・火曜日	月～水曜日
	夏休み 期間中は無休		12/29～1/3
	祝日の場合は翌日休		



●雪が少なくしっかり雪遊びできなかった うつぶんを春に晴らしたい!(高橋) ●雪がなくてせつ(切・雪)ない。つぶやいたのはSSK。脳内おやじが暴走中(岡田) ●除雪作業をほとんどしない冬があるなんて。地球と私の腹肉が心配です(佐々木) ●雪不足で山スキーはいけなかった。残念!来年に期待です(松平)